

法政大学大原社会問題研究所

所 報

(2005.7.1~7.31)

□刊行物
『大原社会問題研究所雑誌』561号 (2005年8月)

□図書受入

	和 書	洋 書	計
購 入	43	24	67
受 贈	28	2	30
合 計	71	26	97

□閲覧サービス

閲覧		
開館日数	25日	
閲覧人員	37名	
貸出図書	37冊	
コピーサービス		
学外	19件	1743枚
学内	34件	2763枚

日	誌
2日	加齢過程における福祉研究会 テーマ：「地域で進める介護予防—おたっしや21健診の開発、実施の経験から介護予防を考える」 報告者：岡浩一郎氏（東京都老人総合研究所介護予防緊急対策室）
5日	事務会議
6日	『大原社会問題研究所雑誌』編集委員会 OISR.ORGに下坂正英資料インデックスを公開
10日	『協定会史料 都市・農村生活調査資料集成Ⅱ』（全12巻）刊行
11日	共同研究プロジェクト ジャーナリスト・ユニオン研究会 テーマ：「韓国言論労組の現状と課題—ジャーナリスト職能運動とのかかわりで」 報告者：李洪千氏（慶応義塾大学政策・

	メディア研究科)
13日	戦後労働運動研究会 テーマ：「各担当時期の収録資料について」 報告者：吉田健二，川崎忠文，五十嵐仁
18日	休日開館
20日	運営委員会 議題①その他
22日	ドイツ年展示打ち合わせ（於：市ヶ谷 相田利雄，若杉隆志出席）
26日	事務会議 河辺育三氏より占領期の国労・社会党・愛労評資料を受贈 段ボール1箱
27日	研究会議 月例研究会 テーマ：「協定会研究の現状」 報告者：高橋彦博（法政大学名誉教授），梅田俊英 戦後労働運動研究会 テーマ：「各担当時期の収録資料について」 報告者：芹澤壽良，川崎忠文

訂 正

- ① 本誌2005年1月号の粕谷信次「社会的経済の促進・世界の動向」のうち、2頁，上から19行目、「社会的経済ということばは、18世紀のフランスで生まれたが」は、「…，19世紀のフランスで生まれたが」に、
- ② 本誌2005年8月号の中島恵理「EU・英国における社会的包摂とソーシャルエコノミー」のうち、16頁，上から11行目、「ソーシャルエコノミーという概念は、18世紀のフランスで誕生し」は、「…，19世紀のフランスで誕生し」に、それぞれ訂正させていただきます。

編集部

大原社会問題研究所雑誌 No.564 (2005年11月号)
2005年11月25日発行
定価 1,000円(本体952円)，年間購読料12,000円

編集(兼)発行人 法政大学大原社会問題研究所
所長 相田利雄
〒194-0298 東京都町田市相原町 4342
電話 042 (783) 2307

投稿募集

本誌は社会・労働問題に対する論文，調査報告を募集しております。下記の規定に基づいてご投稿下さい。

投稿規定

1. 投稿原稿は2部とし，ワープロ作成による未発表のものに限ります。
2. 原稿の分量は，原則として20,000字以内（図表を含む）とします。
3. 原稿には，審査に資するため，600字以内の要約を添付してください。
4. 原稿の採否は，本誌編集委員会が指定する審査員の査読を経て，本誌編集委員会が決定します。
5. 初めて投稿される方は，研究歴など簡単な履歴を添付してください。
6. 掲載原稿には，所定の原稿料をお支払いいたします。

【原稿送付先】

〒197-0298 東京都町田市相原4324
法政大学大原社会問題研究所
『大原社会問題研究所雑誌』編集委員会

論文執筆要領

論文を執筆される場合には，下記の点に留意してください。

執筆者校正の際には，原則として原稿を返却しませんので，原稿のコピーを確保しておいて下さい。

原稿をプリントアウトする場合には，ある程度の行間を取って下さい。

- 1 一般的な原則
 - ① 横書きとする。
 - ② タイトル，氏名の次に簡単な目次をつける。
 - ③ 原稿の最後に，執筆者名（ひらがな），肩書き（所属，職名）を記入する。肩書きは大学の場合には，学部，研究所等の名称まで表記する。
 - ④ 注をつける場合には，各章ごとに分割せず，最後に一括し，通し番号をつける。
 - ⑤ 図，地図などは，可能な限りトレース済のものを提出する。
- 2 注記の方式
 - 日本語の図書・論文の場合
 - A. 日本語で書かれた図書については，①著者名，②書名（書名は『 』で囲む），③出版社名，④発行年（原則として西暦）の順に書く。ページ数を記入する場合には，発行年の次に記入する。
 - B. 著者が2人の場合には，両者の姓名を書く。3人以上の場合には，「——他」の方式も可とする。
 - C. 論文については，①執筆者名，②論文名（「 」で囲む），③掲載雑誌名（『 』で囲む），④巻号，⑤発行年月日の順に書く。
 - D. 注の最後は，かならず「。」で止める。
 - 欧文の図書・論文の場合
 - A. 欧文の図書については，①著者名，②書名，③発行地（あるいは出版社名），④出版年を書く。書名は，イタリックにするので，下線を引くなどして書名の部分を他の部分と区別する。
 - B. 論文の掲載雑誌名は，イタリックとする。
 - C. 再出を示す「ibid.」「op. cit.」などもイタリックにする。
 - D. 注の最後は，かならず「。」で止める。

以上